

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	入居者様の状態(身体状況の悪化、認知症の進行など)の低下が進む中、その状態に合わせてケアを行わなくてはいけない。その為、介護職員の重度化等に対応した技術と知識の向上を行っていく必要がある。	入居者様の重度化に対応できる能力を身に付け状態が変わった入居者様も本人様、ご家族様も安心して適切な介護と対応を受ける事が出来る。各職員のレベルアップを図り介護の専門職としての判断と行動が出来る様になる。	各研修と勉強会を開催し、それぞれのレベルに合った内容で受講しスキルアップを図る。会議やケース検討会を実施する際には、個々の課題と細かな対応方法や個々にあった介護技術の検討とその際の留意点や課題を明確にし、看護師、主治医の意見も踏まえて対応をする。経験者やベテランスタッフはその介護技術と対応技術を新人職員等に伝える事を意識して職務と新人指導にあたる。各ユニット会議の中もリーダーと看護師を中心に自分たちが今必要とする内容で勉強会や確認をする時間を設ける。	12ヶ月
2	4、10	家族様との連携や情報の共有がまだまだ不十分と思われる。頻りに面会に来て下さるご家族様とは適時に連絡と交流を図れていると思うが、なかなか面会に来る事の出来ないご家族様との連携等を深めていく必要がある。運営推進会議の参加や報告も改善していく必要がある。	ご家族様との連携を図り、施設の取り組みや入居者様の生活の様子等を把握し、理解して頂けている状態をどのご家族様にも作ることが出来る。運営推進会議や行事などには、ご家族様も参加をして頂ける環境となっている。	面会が、1ヶ月以上空いているご家族様には、毎月の郵送物に近状の報告をする様にする。(体調の変化や生活の様子、レクリエーションの様子など。)季節毎に独自の新聞などを作り掲示配布をする。運営推進会議の開催の案内、参加の依頼を掲示と配布を行う。ケアプランの見直しや変更などのご家族様の捺印を頂く際には細かな様子を伝え課題や背活の目標と一緒に考えて頂き立案をする。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。